

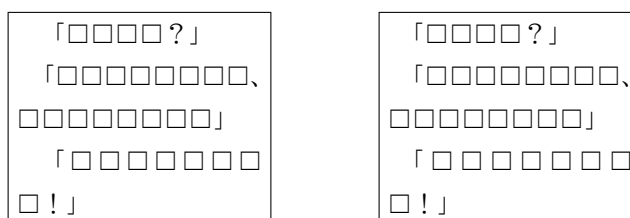
# bxjaprnind パッケージサンプル出力

八登崇之 (Takayuki YATO; aka. “ZR”)

2013/04/29

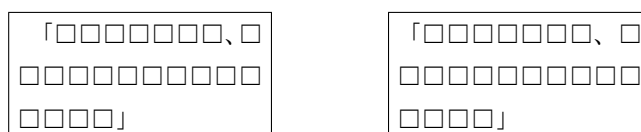
## 1 段落頭の括弧類の空き自動補正

- 左は自動補正を無効化 (`\nouseparheadparenindent`)。
- 右は自動補正を有効化 (`\useparheadparenindent`)。



## 2 段落頭の括弧類の空きの補正值の変更

- 左は既定 (`\parheadparenindentamount{0}`)。
- 右は半角下げに変更 (`\parheadparenindentamount{-0.5}`)。
- 段落下げ (`\parindent`) が入った位置を基準にしている。
- 強制改行後の空白の調整は可能 (`\lineheadparenindentamount`) だが折り返し行頭の空白の調整は pTeX の仕様上困難である。



## 3 強制改行後の括弧類の空きの補正值の変更

- ソースでは各台詞の間に強制改行が入れている。
- 左は既定の設定。
- 右は `\parheadparenindentamount{-0.5}\lineheadparenindentamount{0.5}`。
- 鉤括弧以外の括弧にも効くのでグローバル設定には不適切であるが、この設定にする環境を作る等の方法が考えられる。
- やっぱり不便なので次節の機能を作った。

```

「□□□□？」
「□□□。□□！」
「□□□□□□。□□
□□□□□□□□□□
□□」
「□□□□□□□！」

```

```

「□□□□？」
「□□□。□□！」
「□□□□□□。□□
□□□□□□□□□□
□□」
「□□□□□□□！」

```

#### 4 会話の鉤括弧のための特別な処理

- ソースでは各台詞の間に強制改行が入れている。(その前後は改段落している。)
- 左は既定の設定。
- 右は `\usedialogueparenindent`。
- 鉤括弧だけ `\dialogueparenindentamount` で指定した字下げ量 (既定は半角) になり、さらに段落下げが無効になる。鉤括弧以外の括弧の処理は通常通り。
- 鉤括弧を通常の括弧として扱いたい場合は、直前に `\prnind` を置けばよい。

```

□□□、□□□□□
□□□□。
「□□□□？」
「□□□。□□！」
「□□□□□□。□□
□□□□□□□□□□
□□」
「□□□□□□□！」
(□□□) □□□□、
□□□□□□。

```

```

□□□、□□□□□
□□□□。
「□□□□？」
「□□□。□□！」
「□□□□□□。□□
□□□□□□□□□□
□□」
「□□□□□□□！」
(□□□) □□□□、
□□□□□□。

```